



■ 弦間 昭彦

日本医科大学学長。1989年9月日本医科大学大学院修了。専攻は医学。1984年慈山会医学研究所付属坪井病院内科、1986年国立がんセンター研究所病理部、1991年日本医科大学医員助手、1995年National Cancer Institute, National Institute of Health、1998年日本医科大学講師、2004年日本医科大学助教授(准教授)、2008年日本医科大学内科学講座呼吸器感染腫瘍部門主任教授、2013年日本医科大学医学部長、2015年より日本医科大学学長。主著として(1)「薬剤性肺障害 分析マニュアル」ビッグデータを紐解くエキスパートオピニオン、(2)「オンコロジークリニカルガイド 肺癌化学療法」。

■ 山田 剛史

関西大学教育推進部教授。2005年神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了。神戸大学博士(学術)。2005年京都大学高等教育研究開発推進センター教務補佐員、2006年島根大学教育開発センター講師・准教授・副センター長、2011年愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長、2015年京都大学高等教育研究開発推進センター／大学院教育学研究科准教授を経て、2020年10月より現職。専門は青年発達(心理学)と教育開発(教育学)。初年次教育学会理事、日本青年心理学会常任理事、大学教育学会代議員、日本アカデミック・アドバイザー協会副会長。文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」プログラムオフィサー、文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」選定委員、東山中学・高等学校「土合力教育開発センター」教育顧問など。

■ 小川 健

専修大学経済学部准教授、博士(経済学)。2011年名古屋大学大学院経済学研究科社会経済システム専攻博士後期課程修了、特別研究員を経て2012年広島修道大学経済学部助教授に就任。2015年より専修大学経済学部講師に就任。2017年より現職。担当：国際経済論、資源・エネルギー論、数学補教科目「国際経済とデータ分析」ほか。専門：近経貿易理論、水産物貿易(理論)、暗号資産教育など。経済学教育におけるICTの活用などを旨とする。2010年日本地域学会第2回最優秀発表賞受賞。

■ 巳波 弘佳

関西学院大学副学長、情報化推進機構長、工学部情報工学課程教授。関西学院大学×日本IBM AI共同プロジェクト統括。1992年東京大学理学部数学科卒業、同年日本電信電話株式会社(NTT)入社、NTT通信網総合研究所研究員、研究主任を経て、2002年関西学院大学理工学部情報科学科専任講師。2006年助教授を経て、2012年教授。2000年京都大学博士(情報学)。専門分野は数理工学。数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムモデルカリキュラムの全国展開に関する特別委員会委員。

■ 竹村 彰通

滋賀大学学長。1976年3月東京大学経済学部経済学科卒業、1978年3月東京大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専門課程修士課程修了、1982年9月スタンフォード大学統計学部Ph.D.修了。1982年9月スタンフォード大学統計学部客員助教授、1983年9月パーデュー大学統計学部客員助教授、1984年6月東京大学経済学部助教授、1997年4月東京大学経済学部教授、2001年4月東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2015年5月滋賀大学データサイエンス教育研究推進室教授(クロスアポイントメント)、2016年4月滋賀大学データサイエンス教育研究センター長・教授、2017年4月滋賀大学データサイエンス学部長、2019年4月滋賀大学データサイエンス研究科長。2008年9月日本統計学会賞、2014年9月日本統計学会出版賞、2015年9月日本数学会解析学賞。著書として(単著)「Zonal Polynomials」Institute of Mathematical Statistics Lecture Notes-Monograph Series, 4, A. Takemura. 1984、「多変量推測統計の基礎」竹村彰通、共立出版。1991、「現代数理統計学」竹村彰通、創文社。1991、「統計」竹村彰通、共立出版。1997、「新装改訂版現代数理統計学」学術図書出版社。2020、(共著)「Markov Bases in Algebraic Statistics」Springer Series in Statistics, Vol. 199. Satoshi Aoki, Hisayuki Hara and A. Takemura. 2012、「代数的統計モデル」青木敏、竹村彰通、原尚幸、共立出版。2019。

■ 椎名 洋

滋賀大学データサイエンス学部長・教授、経済学博士。1986年東京大学法学部卒業、1992年東京大学経済学研究科単位取得退学。専攻は統計学。1992年信州大学経済学部講師、1995年信州大学経済学部助教授、2004年信州大学経済学部教授、2020年より、滋賀大学教授。主著として(1)「データサイエンスのための数学」講談社2019年、(2)「教養としてのデータサイエンス」講談社2021年。

■ 早川 美徳

東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター教授、東北大学情報科学研究科教授。1989年東北大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程後期3年の課程。1989年東北大学情報処理教育センター助手、1992年東北大学電気通信研究所助手、2000年東北大学理学研究科助教授、2009年東北大学教育情報基盤センター教授を経て、2017年東北大学情報科学研究科教授、2019年東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター教授。工学博士。専門は非平衡系のパターン形成と動力学。

■ 中尾 光之

東北大学副理事(AI・データ戦略担当)、総長特命教授、未踏スケールデータアナリティクスセンター長。1984年東北大学工学研究科情報工学専攻博士後期3年の課程修了。1984年財団法人東京都老人総合研究所研究助手、1985年東北大学情報処理教育センター助手、1988年工学部情報工学科助手、助教授、情報科学研究科への配置換を経て、2003年同研究科教授。2018年～2019年情報科学研究科長。工学博士。専門はバイオモデリング論。

■ 内田 誠一

九州大学数理・データサイエンス教育研究センター長。博士(工学)。1992年同大学院修士課程(情報)修了、セコム株式会社、同大学院博士課程を経て、2007年より同大学院システム情報科学研究院教授、現在に至る。専門は、画像情報学、実データ解析、および機械学習応用。データサイエンスアワード(2016)、文部科学大臣表彰「科学技術賞」(研究部門)(2019)など受賞。

■ 小田まり子

久留米工業大学AI応用研究所副所長。工学部情報ネットワーク工学科教授。AI応用研究所教育支援部門担当。2012年佐賀大学大学院博士課程修了。博士(工学)。専門分野は教育工学。教育分野へのAI活用研究に従事。2020年より現職。久留米工業大学AI応用研究所副所長として、本学のAI・数理・データサイエンス教育全般を担当している。

■ 河野 央

久留米工業大学学長補佐(入試広報担当)。工学部情報ネットワーク工学科教授。AI応用研究所最新技術調査部門担当。2004年九州芸術工科大学(現九州大学)大学院博士課程修了。博士(芸術工学)。専門分野は、CG・VR応用。大学DXや入試広報から見た教学改善にも取り組んでいる。

■ 千田 陽介

久留米工業大学AI応用研究所所長。工学部情報ネットワーク工学科教授。AI応用研究所データ収集・IoT部門担当。2009年九州大学大学院システム情報科学府博士課程修了工学専攻修士課程修了。博士(工学)。IoT、組込み機器の研究・教育に取り組んでいる。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。